



### 浩一 古畑 議員 発生した土壌汚染の 市民生活への影響は

海を活用した観光・  
まちづくりのために

質 問

糸魚川・大和川海岸の侵食の原因と経過、侵食状況と対応について。また、渚再生にどのように取り組むのか

何う。

市長答弁

海岸侵食の原因と経過は、姫川流域の砂防ダムの建設などによる土砂流出量の減少と姫川港の防波堤の建設による沿岸流の変化などによるものと考えられる。

### 糸魚川駅構内での土壌汚染は

質 問

糸魚川駅構内の旧レンガ車庫付近で検出された土壌汚染は、ヒ素が基準溶出量の2.1倍、鉛が2.7倍という重大な問題であり、詳細な数値と生活に及ぼす影響、今後の対応などについて何う。

市長答弁

詳細調査数値は、鉛及びヒ素が調査箇所9地点で基準値を超えており、鉛が土壌含有量で、基準値150mg/kgに

し、170から400mg/kgで、ヒ素が基準値0.01mg/lに対し、0.011から0.021mg/lで、地下水濃度で0.02mg/l検出された。

また、県・市で、地下水調査を実施した結果は、鉛、ヒ素とも調査した全井戸で検出されなかった。

当該地の一部は、市の駐車場の整備予定地であり、今後、県の調査分析とJR西日本への指導等が明確となった段階で、対応を要請する。

### 《その他質問項目》

・観光振興と施設整備



### 昇 古川 議員 夜間訪問介護の 実態は

夜間訪問介護の当市における現状は

質 問

国が在宅介護を中心に進めている現状で夜間訪問介護について、厚生労働相は、来年度デイサービス施設において

宿泊もできる事業を盛り込むと発表した。が、当市の現状、宿泊サービスを新たに展開する背景について何う。

市長答弁

夜間訪問介護の状況は、午後6時から午後10時までの夜間の利用者が8人、午後10時

### 糸魚川市の就職、 雇用状況は

質 問

景気の先行きが不安な状況だが、当市の雇用状況と今後の取り組み、ハローワークとの連携、関係団体への対応について何う。

市長答弁

7月の当地域の有効求人倍率は0.66倍と、県平均0.57倍と比べ高水準だが、厳しい状況である。今後とも求人説明会により求職者と企業の出会いの

場を提供するとともに、国の雇用対策の動向を注視し、各種支援制度の周知などに努めていく。

また、今後も様々な場面でハローワークと協力体制を維持するとともに、状況に応じ経済団体に対して雇用の確保・安定を要望していく。

### 《その他質問項目》

・新幹線建設に伴う融雪基地設置

・糸魚川市におけるこれらの平和活動